

(様式3) 【松江市学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立母衣小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	社会	日本の歴史 縄文のむらから古墳のくにへ	出雲弥生の森博物館、西谷墳墓群 島根県立古代出雲歴史博物館
ねらい		古代の古墳遺跡や出土品など、歴史を伝える実物に触れ、歴史事象に対する理解を深めるとともに、地域の歴史への関心や理解を深め、学習に対する意欲の向上を図る。	
<p>1 取組の概要</p> <p>社会科の歴史学習の一環として、出雲弥生の森博物館と西谷墳墓群、島根県立古代出雲歴史博物館を見学した。</p> <p>出雲弥生の森博物館では、古墳からの出土品など弥生時代から古墳時代にかけての出雲地方の王やくにの様子を伝えるものを、職員の方に解説していただきながら見学することができた。また、西谷墳墓群をめぐり、この地域で多く見られる四隅突出型墳丘墓の規模の大きさを感じ、王たちの権力や当時の高い技術力を知ることができた。</p> <p>島根県立古代出雲歴史博物館では、荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡で出土した銅剣や銅鐸、出雲地方の古墳からの出土品や島根の歴史に関わる展示などがあり、郷土の古代の歴史に対する関心や理解を高めることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 45%;"> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>自分たちが暮らしている島根県、出雲地方で古代史に残る遺跡群や出土品が見られることを知り、実物に触れることで郷土への誇りを持ち、愛着を強く感じることができると考えた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>実際に自分の目で見たり、肌で触れたりする体験は、教科書を通して座学で得ることよりもはるかに印象に残り価値のある学びとなったように感じる。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>歴史学習で取り上げられていることは、自分たちの生活とはあまり接点のない知らない場所の話と考えがちだが、身近な地域にも優れた歴史遺産が残されており、郷土再発見のよい機会となった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>弥生～古墳時代というこどもたちにとってはあまり想像できない古い時代であるが、当時の遺跡や遺物を目の当たりにしながら当時の様子を想像することで、より自分に近いものとして歴史を感じ、深い学びにつながったと考える。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>今回の学習はとても貴重な体験であった。しかし、見学の行程には多くの時間を必要とし、歴史学習全体の中で他の内容の学習時間を削減しなければならない。他の単元との兼ね合いを考えバランスよく計画・実施していく必要があると考える。</p>			